



夢の実現へ一歩を踏み出す

2月10日、上甑町の上甑老人福祉センターで、中甑島と下甑島を結ぶ蘭牟田瀬戸架橋の事業着手式が冬柴鐵三国土交通大臣、地元住民ら約250人が参加し開催されました。架橋を含め約5.1kmの県道が整備される予定です。完成すると甑島が一つになり、人や物の往来が活発になるとともに、各種イベントなど多くの連携が期待されます。



拠点都市としての機能充実

3月3日、南九州西回り自動車道「川内道路」のうち、薩摩川内都IC～串木野IC間の約6.5kmが開通し、また、10月30日にはさつま町狩宿～本市水引町を結ぶ全長42.4kmの川薩広域農道「川薩グリーンロード」が完成しました。この二つの開通により、人や農産物などの流れがさらに活発になることで、多方面での期待が高まっています。



多方面で栄えある受賞

せんだい幼稚園(平佐町)の「な～もの森(写真)」が第17回緑のデザイン賞の緑化大賞を受賞。また、有限会社農業生産法人「のぎき」の去勢和牛が、全国肉用牛枝肉共励会で県勢としては初めて最高賞の名誉賞を受賞。市消防団も北部豪雨災害時のさまざまな活動により被害の拡大防止に努めた功績が認められ防災功労者内閣総理大臣賞を受賞しました。



地方の声を、地方の姿を国へアピール

1月16日、首相官邸で開かれた「頑張る地方応援懇親会」に森市長が出席し、首相に直接、本市の現状を紹介。11月3日には、増田寛也総務大臣が「くるまご対話 in 鹿児島」の一環で甑島を視察しました。このような中、地方自治に関する優れた施策や取り組みを実施したとして地方自治法の施行60周年を記念した式典で本市が表彰されました。

平成19年 主な出来事

いよいよ平成20年が始まりました。平成の年も成人を迎え、節目の年といえそうです。さて、平成19年も本市にとってたくさんのお出来事がありました。ここでは平成19年1月～12月までにあった市政などの主な出来事について抜粋して掲載します。昨年を振り返り、新しい気持ちで1年の目標などを立ててみましょう。

